

第3章 二つの世界大戦と日本 1 第一次世界大戦と帝国日本
5 帝国日本と移動する人々 (p. 104~106)

第一次世界大戦後の日本

- ・日本は広範な地域に勢力をおよぼす
台湾，樺太，関東州，朝鮮，南洋諸島
→内外にむけて多くの人々が移動（〔 〕）

日本人の移民と沖縄ソテツ地獄

- ・日本人は仕事を求めて海外に渡航
〔 〕，北米，中南米，東南アジア，朝鮮，台湾
→1924年〔 〕
〔 〕への移民は事実上全面禁止
- ・沖縄県民の移民
大戦景気で黒糖価格が暴落
→ソテツ地獄（深刻な不況）
→広範囲にわたる移民，日本本土への出稼ぎ増加

大日本帝国内の移動

- ・1930年代～
日本人移民は大日本帝国内の勢力圏内に集中
満州の開拓移民…国策
→行政機関，学校，企業の設置
→官僚，学者，医者，学生，会社員，労働者，商人などが増加

韓国併合後の朝鮮人

- ・朝鮮から〔 〕と満州に移る朝鮮人が増加
原因：植民地政策による農民の窮乏化
- ・工事現場や炭鉱・鉱山，日雇い労働などに従事
→低賃金，差別もうける

出稼ぎ

貧しい家計を助けるため，出身地を離れて労働
→厳しい労働条件，不当な差別

(1) 明治期

- ・農家の二男・三男
→北海道の漁業や農業に出稼ぎ
- ・小作農業の娘
→〔 〕・〔 〕業の工場に出稼ぎ
製糸業：〔 〕，岐阜，山梨，愛知
紡績業：大阪，愛知
織物業：愛知，大阪，京都

(2) 第一次世界大戦後

- 工業地帯の形成，都市化が進展
- ・農村の青少年
→東京・大阪などの〔 〕に出稼ぎ